

55 但馬の巨木を次の世代に引き継ごう

【き】 巨木は但馬地域の共通財産！

但馬地域の共通財産である巨木を活用して、市町の枠を超えて地域を元気にしようと、平成13年度から但馬夢テーブル委員会の活動として巨木百選マップづくりに取り組み始めました。

【概】 マップの完成と但馬巨木保存会の設立

平成14年度から実際に巨木の調査を始めました。夢テーブル委員が中心となり、市町、但馬生物学会、樹木医、森の案内人、森林組合、造園組合、緑化協会が力を合わせ、300ほどの巨木を調査しました。その中から著名度、歴史性、品種、地域性などに配慮しながら100の巨木を選び、但馬ふるさとづくり協会の協力をいただいで、詳細なマップ付の「但馬の巨木百選」を3万部、作成しました。

平成16年5月には、夢テーブル委員を中心に巨木に関心のある住民が集まり、「但馬巨木保存会」を設立しました。「但馬の巨木百選」の活用はもちろん、巨木見学会や写真コンテストなどを開催し、但馬の巨木をPRしています。

【成】 巨木の素晴らしさが認識されつつあります

「但馬の巨木百選」の作成をはじめとするさまざまな活動を通じて、但馬の巨木の素晴らしさを地域内外の人々に知ってもらえました。特に各地の巨木見学会には、これまで約300人が参加し、好評を得ています。

平成17年1月には、県教育委員会を招いて、天然記念物指定に関する研修会を実施しました。今後、指定されていない樹木の指定への取組を進めたいと思っています。

【夢】 巨木の保護・活用に向けて

地域の中で巨木が認知され、多くの人が見に来るようになれば、地域で巨木を守っていこうという機運が盛り上がります。その一方で、観光名所として巨木に多くの人を訪れるようになれば、それだけ巨木が傷む危険にさらされることにもなります。

会員同士で話し合い、巨木について正しい知識を身に付けながら、これからの巨木の保護・活用に向けた体制づくりをしっかりと行っていききたいと思います。



「但馬の巨木百選」

但馬巨木保存会

代表者氏名：田中栄一
活動地域：但馬地域
事務所等：豊岡市高屋894-1
北但東部森林組合内
電話番号：0796-23-0147
FAX番号：0796-24-0793

ともに取り
組んだ団体等

市町、但馬生物学会、樹木医、森の案内人、森林組合、造園組合、緑化協会、但馬ふるさとづくり協会

現地調査から、マップの印刷までさまざまな協働を行いました。

活用した支援

但馬県民局地域戦略推進費補助金
(兵庫県)



好評！専門家が現場で解説

巨木見学会は、平成15年度から8回にわたり、但馬の各郡で開催しました。開催にあたっては、ただ私たちが参加者を地域の巨木にご案内するだけではありません。これまでの活動を通じて知り合い、お世話になった専門家の方にお願ひし、巨木のいわれや見学にあたって気を付けなければならないことなど、プロならではの視点で解説をしていただきました。



応募写真をパネルにして各地で展示

但馬の巨木について地域内外の人たちに知ってもらおうと写真コンテストを、木の殿堂の協力を得て開催しました。入選作品は大きなパネルにして保存してあります。そして、そのパネルを地域の各地で展示してまわることで、地域に但馬の巨木の情報発信をしています。1回限りのイベントで終わらせるのではなく、その成果を後々にまでいかせるような工夫をすることが大事です。

以前、会員の1人が入院したときには、先生や看護師さんからの要望もあって、入院先の病院でも展示させてもらいました。庁舎、公民館、病院、どこでも機会があれば展示させていただき、PRさせていただいています。

現在、但馬県民局のホームページでも紹介していただく準備が進んでいます。



広報はターゲットを絞って

写真コンテストを開催したときには、もちろん新聞などマスコミを通じての広報もしたのですが、カメラ屋さんでつくる写真同好会があったので、そこを中心に広報しました。61人から178点の応募があり、何とか100点集めたいという私たちの予想よりはるかに大きな反響がありました。

イベントなどの参加者を募るときには、どういう人たちに参加してほしいのか、そして、その人たちが多く集まる場所や団体は何か、ということを考え、そこに力を入れて広報すると有効かもしれません。

今後、巨木ばかりでなく、但馬の名所、文化財などを知ってもらうため、案内板、道路標識の設置に取り組みたいと考えています。

読者の皆さんへのメッセージ

巨木は先祖が残した但馬の宝です。見学するときは、根を傷めたり幹に近づかないようにするなどルールを守り、次世代に引き継いでいきましょう。